

原水爆禁止2019年世界大会の開催にあたり、ご盛会をお祝い申し上げます。

核兵器も戦争もない平和で安全な社会の実現は、人類共通の願いであります。しかし、今もなお、テロや内戦は繰り返され、世界には約1万発の核兵器が現存するとされています。日本は被爆経験国として、かけがえのない多くの命を失った代償を誓いとして、原水爆禁止を訴え続けていかなければなりません。

我が斑鳩町におきましても、1985年（昭和60年）9月27日に非核平和都市の宣言を行い、また、2009年（平成21年）には、世界各国の都市で構成された「平和首長会議」の基本理念や活動趣旨に賛同し、同会議に加盟をいたしました。そして、2017年（平成29年）には、核兵器廃絶を求める決議が議会の満場一致で可決されました。

核兵器のない平和で希望に満ちた社会の実現に向け、我が国の世論と運動が果たす役割は重要でありますことから、引き続き、町民の皆様とともに積極的に取り組む所存でございます。

本大会が、意義ある大会となりますよう祈念申し上げますとともに、ご参加されました皆様方のご健勝ご多幸をお祈りいたしまして、私のメッセージとさせていただきます。

令和元年6月28日

奈良県斑鳩町長 中西 和夫